

大好き！絵本

初瀬 恵美



新年 明けまして おめでとうございます

年末年始とお天気に恵まれ、とても気持ちのよい日が続きましたね。去年は大きな地震や雨による土砂災害の危険などいろいろありましたが、こうして無事に新年を迎える事ができたことを嬉しく思います。そして、つくしさんは保育園生活も残り3か月になりました。楽しいことがいっぱい園生活になるよう、職員一同頑張っていきたいと思ひます。

さて今月の絵本紹介は年賀状に使った『のはらうたⅢ』をご紹介しようと思ひましたが、変更して『ことばあそびうた』をご紹介しようと思ひます。

そのきっかけとなったのが、つくしさんと七草がゆ作りでした。本物の七草を前に「せり・なすな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すすな・すすしろ これぞ七草」(四辻の左大臣が詠んだ詩といわれている)と一生懸命に覚えながら口ずさむつくしさん。すすな(かぶ)、すすしろ(大根)は見たことがあっても、他の草は初めて見るものばかり。

花の咲いたなすなを見せても「しらな〜い」と今いちピンとこない様子。種のところを筋をむくように下にさげそれを振り「こうすると、音が聞こえるでしょ。散歩のときにしたことない？」と話をしながら、クッキングにとりかかりました。七草の中から自分が好きなもの一つを選び、洗って切りました。切り終わってから「自分が何切ったか覚えてる？」と尋ねると分かる子もいれば、分からない子もいました。(いたって、普通の姿です。)

クッキングや給食も終わった後、飾ってあったなすなをしゅんぺいくんが持ってきて(振りながら)「ねえ、これ音がならないよ。」と言いました。「ここは、うるさいから、聞こえないのかもね。静かなところに行けば、聞こえると思うよ。」と答えました。すると、静かなところに行って振って「きこえる〜♪」と喜んでいました。私が「これね、しゅんぺいくんが、切った(クッキングした)なすなだよ。」というと「え〜!!なすな。あの、なすな！」と感動していました。最初に紹介されたなすなと、自分がクッキングしたなすなと今ここにあるなすなが一致して、点と点が線でつながったような感動の声でした。

今まで、何度も目にしてきたはずのなすな。特別気かけず、大きな風景の中の一部でしかなかったものです。それが、今日のクッキングをきっかけに、一つの存在として、認識できたのです。そう思った時、思い浮かんだのが今月の絵本の中に出てくるこの詩です。

「のはな」

はなのののはな はなのななあに なすな なのはな なもないのばな

(花野の野の花 花の名 なあに なすな 菜の花 名もない野花)

言葉遊びの中にでてくるなすな。楽しい言葉遊びの中では、韻やリズムに、気をとられがちでまるで大きな風景の一部でした。しかし、しゅんぺいくんとのやりとりで、その存在を思い出しました。この本の中には、韻をふんだ楽しい言葉遊びがいっぱい詰まっています。ぜひ、お子さんと声を出してよんで、楽しんでみてください。きっと、おもしろい世界が広がると思ひますよ！

